

第1章 第4次地域福祉活動計画の概要

1 地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、そのまちに暮す一人ひとりが地域社会を担う一員として、自分の地域について考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくため、社会福祉協議会が住民の方々と共に策定する行動計画です。

小千谷市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、地域福祉活動計画を指針として、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉を目指し、事業を実施していきます。

2 第4次地域福祉活動計画策定にあたって

第4次地域福祉活動計画では、地区ごとに協力員懇談会を開催し、町内会長や民生委員児童委員・主任児童委員、市議会議員、社協の役員及び評議員の皆さんからご意見をいただきました。また、保育園・認定こども園の保護者、企業・事業所にアンケート調査を行い、福祉に関するご意見をいただき、本計画に反映しました。

地域福祉活動計画評価委員会からは、第3次地域福祉活動計画（平成24年度～平成28年度）の実施計画について、個別事業72件の実施状況の評価や中間年度での見直しをいただき、残された課題等を引き継ぎます。

なお、地域福祉活動計画が地域住民やボランティア団体等との協働による行動計画であることから、社協の経営理念に基づく事業展開のビジョンや組織・財政を中心とする社協の基盤整備等については、（仮）「社協発展・強化計画」として別に策定します。

3 計画の期間

この計画が対象とする期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間です。年度ごとに計画の評価を行い、中間年度にあたる平成31年度には、計画全体の見直しを行います。



第2章 地域の声から見えてくるもの

1 地域からの声

小千谷中学校区【西小千谷・吉谷・城川・真人北部・
山辺（上坪野・細島・塩殿・卯ノ木除く）】
千田中学校区【千田・片貝（高梨・五辺）】



工夫が必要な点

- ・子育て中の若い世代の生活しやすい環境
- ・前期高齢者の方々の生きがい活動
- ・福祉推進員の活動内容の充実

これまでの実績

- 福祉会11カ所：本町・土川・上ノ山・桜町・千谷川・平沢・真人北部・高梨・小栗田・三仏生・千谷
- サロン24カ所：土川・上ノ山・日吉・元町・船岡・西中・千谷川・千谷川宮田・上村・栄町・桜町・稲荷町・平成・本町・山本・高畑・谷内・時水・平沢・三仏生・千谷・高梨・五辺・小栗田
- 地域福祉活動助成金交付事業：27件

地域でできること

- ・配布物の配布の際、顔を合わせ会話する
- ・町内便りの発行による情報提供
- ・一人暮らし高齢者の見守り活動
- ・福祉会の立ち上げ

社協へ期待すること

- ・地域に住み続けたいような福祉のまちづくり
- ・寝たきりや認知症にならないための予防活動
- ・子育て支援活動
- ・福祉に関する研修や情報提供

東小千谷中学校区（東小千谷・浦柄・東山）

地域の情報が入らない

若者の引きこもりが増加している

高齢者や障がい者がふれあえる交流の場が欲しい

地域の付き合いがうすくなっている

若い世代の福祉活動への参加が必要



工夫が必要な点

- ・ 個人情報の取り扱い
- ・ 子供のころから福祉学習ができるような出前講座

これまでの実績

- 福祉会12カ所：東山・元中子・津山・旭町・稗生・木津・横渡・東栄・山寺・信濃町・木津団地・浦柄
- サロン12カ所：東栄・元中子・旭町・木津・木津団地・信濃町・津山・稗生・横渡・山寺・浦柄・東山
- 地域福祉活動助成金交付事業：41件

地域でできること

- ・ 散歩ついでのごみ出し支援
- ・ 日頃からの福祉に関する気づきを持つ
- ・ 一人暮らし高齢者の地域での見守り
- ・ 自分にできることをほんの少しでもみんなのために意識を持つ

社協へ期待すること

- ・ 地域に溶け込んだ会議の開催
- ・ あちこたネットのPR強化
- ・ 充実した介護サービスの実施
- ・ 住み続けたいくなるような福祉のまちづくりの推進

片貝中学校区【片貝（高梨・五辺除く）】

一人暮らし高齢者が多い

支援を必要とする人の情報が得にくい

町内会と民生委員児童委員の情報共有が大事

災害時の地域の支援体制について話し合おう



工夫が必要な点

- ・若い世代の参加や意見を聞く方法
- ・福祉会、民生委員児童委員、町内会の連携
- ・個人情報の取り扱い

これまでの実績

- 福祉会1カ所：片貝
- サロン1カ所：片貝
- 地域福祉活動助成金交付事業：13件

地域でできること

- ・地域行事に合わせた防災訓練の実施
- ・個人情報保護の重要性を理解したうえで、毎日の生活に困っている方の支援の協力体制の構築のために必要な情報の共有

社協へ期待すること

- ・子育て支援活動
- ・心配ごとなどの相談活動
- ・ボランティア活動の推進
- ・福祉に関する研修や情報提供

南中学校区【川井・岩沢・真人（北部除く）・
山辺（上坪野・細島・塩殿・卯ノ木）】

子どもが少ない

子育てしやすい地域
づくりが大切

世帯数の減少が心配

冬期間の生活が心配

気軽に集まれる
場所が必要



工夫が必要な点

- ・ 町内役員の引き継ぎ方法
- ・ 学童保育等、子育て支援の学校の空き教室の活用

これまでの実績

- 福祉会2カ所：真人里地・岩沢
- サロン1カ所：真人里地
- 地域福祉活動助成金交付事業：19件

地域でできること

- ・ 子供たちによる見守り活動
- ・ 懇親会等による定期的な地域のコミュニケーションづくり
- ・ 一人暮らし高齢者への隣近所による除雪支援

社協へ期待すること

- ・ 住み続けたいような福祉のまちづくりの推進
- ・ 寝たきりや認知症にならないための予防活動
- ・ 福祉に関する研修や情報提供

2 子育て中の保護者の声

相談相手がいない

安心して遊ばせる
ところがない

育児と家事・仕事で
くたくた

子どもの笑顔に
癒される



子育てしていく上で地域で 必要な支援は？

- ・ 身近に子供の遊び場や親子のふれあい交流の機会
- ・ 学童クラブや子供の託児、病児保育等の充実
- ・ 日頃からの防犯や安全活動の推進
- ・ 地域の中で情報交換ができる環境の整備

社協へ期待すること

- ・ 子育てを支援する活動
- ・ 青少年を対象とする福祉活動
- ・ 心配ごとなどの相談活動
- ・ ボランティア活動の推進

社協を知ってる？

- ・ おもちゃ病院の開催
- ・ 学童クラブ保育の運営
- ・ 福祉体験学習の支援
- ・ ボランティアセンター事業

多くの会社が活動しています

- ・リングブルや使用済み切手等を社内で呼びかけし、収集する活動
- ・会社として寄付や寄贈をする活動
- ・会社の所在地域における地域行事に協力する活動



こんな活動をしている会社もあります

- ・災害時のボランティア活動
- ・子育て中の働く女性の支援活動
- ・社会復帰のための更生支援活動
- ・保育施設を無料で修繕する活動

つぶやき

- ・何かきっかけがあれば取り組んでみたい
- ・ひと、お金、時間の余裕がない
- ・広報を見て、活動可能なら参加したい

社協へ期待すること

- ・地域に住み続けたい福祉のまちづくりを進める地域福祉活動
- ・充実した介護サービス
- ・子育て支援活動
- ・福祉に関する研修や情報提供

社協との連携について

- ・イベント等の協力
- ・活動の紹介や情報の提供があれば連携できることもあると思う

社協を知ってる？

- ・福祉会、いきいきサロンなどの活動
- ・ホームヘルパーやデイサービスなど介護保険事業
- ・おもちゃ病院の開催
- ・さつき工房や福祉施設の運営

第3章 この計画のめざすもの

第4次地域福祉活動計画は、小千谷市における地域福祉の現状と課題を把握、整理し、それらの課題を解決していくことをめざし、第3次地域福祉活動計画の実施評価や残された課題等を踏まえ、引き続き、地域住民の自主組織や行政、その他の関係機関などとの協働により、事業を推進します。

個々の事業を推進するための基本指針として、基本理念と基本目標を定めます。

1 基本理念

支えあい いたわりあい 励ましあい 心豊かなまちに

社協の基本理念でもありますが、全ての人がお互いに「支え、支えられ」「いたわり、いたわられ」「励まし、励まされ」ながら、誰もが安心して暮らせる心豊かなまちづくりを進めることを目指しています。

2 基本目標

地域づくり 人づくり ネットワークづくり

心豊かでおもいやりのある地域を形成するには、福祉の心を持った人々が連携することにより大きな力となっていきます。このことから基本目標を定めて、基本理念実現のため、計画を推進します。

3 基本計画

第3次地域福祉活動計画の実施事業への評価や協力員懇談会での意見、各種アンケートから見てきた福祉課題等の解決に向け、次の3つの項目を基本計画とします。この基本計画の推進については、福祉会などの住民自主組織や行政及び関係機関や団体と連携しながら事業を実施していきます。

1. ふれあい・支えあう地域づくり

地域の福祉を考え、課題解決していく住民組織としての「福祉会」を、市内全域に設立するよう推進していきます。そして、地域住民がつながり、互いに支えあう活動を広げ、高齢者や障がい者、子育て中の親子等も地域全体で支援していく、心豊かにふれあい・支え合う地域づくりを進めます。

2. いたわりとやさしさの心を持つ人づくり

講座や研修会等を通し、地域福祉推進の担い手となるボランティアの発掘や育成を図ります。企業等の社会貢献活動との連携を深め、シルバー世代の力を地域の活性化に役立てます。また、子ども達に「思いやり」の心を育てるため、学校等と連携した福祉教育の充実に努めます。そして、ボランティアグループや福祉関係者と連携して、いたわりとやさしさの心を持ち、心の通う人づくりを進めます。

3. 安心して住み続けるためのネットワークづくり

相談体制の確立や様々な福祉サービスの充実に努めるとともに、地域住民のニーズに対応した既存サービスの拡充や新たなサービスに取組み、関係機関・団体等と連携をとりながら、誰もが安心して地域で住み続けることができるよう、福祉のネットワークづくりに努めます。

4 第4次地域福祉活動計画の体系

この計画の基本理念・基本目標の実現に向け、次のような計画の体系の中で、具体的な施策の展開を図ります。

